

【以下、評議員会の下の委員会】

名誉会員推薦委員会（伊藤副会長）
・推薦文確認

各賞選考委員会（委員長-酒井治孝）
・各賞の推薦文確認

法務委員会（担当理事：委員長-上砂）
・地質学会プライバシーポリシーの文書体裁修正提案の確認、直近の地質ニュース誌に掲載予定。

6. 4 役会議審議内容

- 1) 木村会長の連合議長就任、学会の今後の重要課題
学術会議の主要な議題について説明。来年G8の地球環境問題での地球科学のプレゼンス拡大、連合に地球環境問題特別委員会が発足予定。
- 2) 札幌大会の状況把握、秋田大会の進展について
- 3) IYPE：地質学会年会07～09年と関連行事をIYPEの活動とする。
- 4) a. 地質の日実行委員会は藤本次期理事が委員として担当、b. 支部での活動推進のために、伊藤副会長担当で支部長会議の招集予定 c. GEOPARKについての窓口は普及部会担当理事が行う方向で検討。
- 5) 地質学雑誌の原稿不足問題についての現状、長期的な方向性についての検討。
- 6) HP更新に向けて、メールマガジン実施の際の発信内容の承認は、広報部長、情報特任理事の承認案件とする。

○審議事項

1. 総会議案資料等の確認
2. 総会議長
前例に習い、小嶋さんに議長依頼、副議長候補者の選考に努めることとした
3. 07年度理事会、役割分担と引継ぎ、*印
部長
常務理事：渡部
副常務理事：天野
運営財政部会：上砂*、中山、向山、倉本（広報、ニュース誌：倉本）
学術研究部会：公文*、斎藤（行事：斎藤、国際：公文）
編集出版：狩野*、久田、宮下、Wallis
普及教育：矢島*、藤本（企画出版：藤本）

2007年度 第1回理事会 議事録

2007年6月20日
日本地質学会 会長 木村 学
期 日：2007年6月9日（土）
12：00～17：00

場 所：地質学会事務局
出席者：木村会長、佃副会長、渡部常務理事・天野副常務理事・Wallis・上砂・公文・倉本・斎藤、中山・久田・藤本、宮下・向山、矢島（遅刻）各理事、橋辺（事務局）
欠席理事（委任状）：伊藤副会長、狩野

* 成立員数（12/17）に対し、出席者15名、委任状2名で、理事会は成立。

○報告

1. 運営財政部会（部会長-上砂、中山、向山、倉本）
総務委員会（委員長-上砂）
・国際賞受賞者グリーン氏およびホワイト氏への、今後の連絡や受け皿については、新井田評議員が引き受けるとのこと。東京で何らかの行事等を予定されることがあるかどうか、招待の旅費等の支出について、どのように支給するか、これらについては旅行等の手配を始める前にきめてほしいとのこと。招待状推薦文については、翻訳を依頼し、翻訳文をWallis理事が確認のうえ発送する。
招待の旅費等については会計担当理事と協議の上支給の仕方を決めることとした。
- ・文科省より、平成20年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞および若手科学者賞受賞者の推薦について案内があった。学会推薦のみ受付可。締め切り7月13日→Webサイト、News誌で広報する。会員からノミネートしてもらったもの（締め切り7月2日）を、理事会のメールで審査する。
今年度については、条件を検討の上、柵山賞受賞者を、理事会から推薦する。来年度以降の推薦については、各賞委員会と連絡の上で、検討する。
- ・大学評価・学位授与機構から、国立大学教育研究評価委員会専門委員候補者の推薦依頼。平成20年度の中期目標期間における国立大学法人及び大学共同利用機関法人の教育研究状況の評価を担当。推薦締め切り6月15日。
評議員会に推薦を依頼しているので、評議員会からの推薦者に追加して、理事会としても候補者をあげ、本人の承諾を得て推薦をする。達成状況評価委員 6名、研究業績委員 5名の候補者を選んだ。
- ・国際地理オリンピック・アジア大会（台湾）に選手派遣のために、同日本委員会より関連学会に対し寄付の要請があった。依頼状の趣旨、用途が明確でないので、は寄付しないこととした。
- ・土木学会会長以下役員交代、新会長 石井弓夫
<他団体の後援など>
・「OCEANS '08 MTS/IEEE/KOBE-TECHNO-OCEAN '08」（08/4/8-11、隔

年に日本で開催）の協賛依頼が同会議委員会よりあり、前回通り承諾した。

会員関係（担当理事-中山）

- 1) 入会の承認
正会員（3名）：吉川武憲 清水連太郎 加藤清次
院生割引会員（8名）：岩谷北斗 澤田大毅 岡本泰子 シャルコフスキ アネストリア 千葉恵美 村上龍太郎 奥村知世 山下翔大
準会員（2名）：高仁 環 曾野部敬子
2) 退会者（正3名）タウン タイ 白井 亮久 梅原綾乃
3) 5月末現在会員数
賛助34、名誉75、正4329（内、院割176）、学生27、合計4465名（昨年比-62）
4) 会員名簿：6月中に印刷所に見積もり依頼。6月下旬～7月一杯に編集作業。
5) 新会員システムについて
全会員データの基本情報まで格納済み、現在は、実際に運用するシステムを調整中。

関連学会連合（担当理事-天野）

- ・地球惑星科学連合（久田連絡委員）
- 1) 連合評議会において、木村会長は連合議長に就任。
- 2) プログラム委員会七山委員から報告
- 3) 08年度の大会開催予定 5月25日（日）-30日（金）
- 4) 08年度プログラム委員長 渡辺真人（地質学会）
- 5) 地惑連合：国際地学オリンピック小委員会（久田委員）報告
JSTからオブザーバー参加のための予算が付いた。

学術会議関係報告（木村会長=連携会員）

- ・課題別委員会：地球温暖化対応委員会を作る動きあり。ポストIPCCに対応する。
- ・サイエンスの側からのメッセージをG8に関連して提出する。
- ・地球科学関係コミュニティからの情報発信をめざす。

会計関係（担当理事-向山）

- 広報委員会（担当理事-倉本）
- ・学会表彰を授与する、写真家北中康文氏について、山と溪谷社がプレスリリースを行うとのことから、学会としても6月4日に文科省の記者クラブにリリースをおこなった。
- ・メルマガ開始の準備中、第一回配信を7月3日におこなうこととした。
- 以後、第1、第3火曜日に定期配信をおこなうこととする。
- ・メルマガの名称を、「Geo flash」とした。
*その後他所で使用中の名称とわかり「geo-Flash」とすることとした。

- ・ホームページの更新
小委員会の再編成を行い、広報委員会の元にニュース誌編集小委員会、ホームページ小委員会、メルマガ編集小委員会を設置した。
- ニュース誌編集小委員会（担当理事-倉本）
インターネット運営小委員会（委員長-坂口有人）
 - ・新しいHPのためにレンタルサーバー業者、さくらインターネット㈱と契約。9月まではHIPと並行して利用。
 - ・新ホームページのデザイン決定。
 - ・HP作成業者との契約書類について、法務委員会で内容確認のうえ再度提出を依頼中。
- 2. 学術研究部会（部会長-公文、）
行事委員会（斎藤委員長）
 - ・札幌大会予告記事をHP、News 5月号に掲載、発表申込みはJ-stageで、参加登録は近畿日本ツーリストでの受け入れが開始された。
 - ・遅れていた札幌大会HPが公開された。
- 3. 編集出版部会（部会長-狩野、久田、宮下、Wallis）
 - 1) 地質学雑誌編集委員会（委員長-狩野副委員長-久田、宮下=企画担当）
 - ・今月の編集状況は以下の通りです（6月8日現在）。
 - 113-5：論説4・口絵1（52p・発行済）
 - 113-6：論説3・短報3（56p・校正中）
 - ・2007年度投稿論文総数35編 [論説21（和文21）、総説7（和文7）、短報6（和文5欧文1）、ノート1（和文1）] 口絵5（和文3 欧文2）※うち23件が電子投稿
 - 投稿数昨年比 -16 査読中46編 受理済み 6編（論説4・口絵2 特集号は除く）
 - ・投稿規定の文献表記欄等誤字を修正。
 - ・特集号の投稿手順について、これまでの世話人一括投稿方式をやめ、電子投稿にも対応させた内容に改訂する。
 - ・地質学雑誌の新カテゴリーの立ち上げについて
 - 2) Island arc編集委員会（担当理事-Wallis、事務局長-竹内圭史・角替敏昭）
 1. 編集状況
2007年16巻の年間契約ページ数576（～最大620）p
 - 1号 Pictorial 1編、特集6編、一般8編。18年度では計画540pに対し537p。
 - 2号 一般7編入稿済み、6月末発行。
 - 7編ともOnline Earlyで公開済み。
 - 3号 フィリピン海特集：8編見込み。3号掲載だが、4号に延期するかも。GEに打診の上、今月下旬に決定する。一般4編を予定。

- 4号 手持ち一般受理原稿5編あり
年間計画 1号：一般8編127p+特集6編79p+口絵3p+白紙=210p
2号：一般7編104p+Editorial 3p+白紙=108p
3号：一般4編60p+フィリピン海特集8編（120）p=180p
4号：一般5編75p+Index等2p=77p
総計575p/契約576p
 2. 特集
フィリピン海特集：Guest Editors小原・徳山・石渡・Stern 8編見込み。3号掲載だが、4号に延期するかも。
板谷特集：GE板谷・Sajeew・Wallis 5編受付済み、7-8編見込み。17-1号を予定。
久田特集：GE久田・Yumul (IGCP 516) 全23編受付済み。17-4号・18-1号分割掲載を予定。
 3. オンライン投稿
07年5ヶ月で新規投稿59編（特集10+5+23編、一般21編）あり、原稿過多過ぎみ。
 4. 方針を変更させたい（詳細は、次回理事会に提案することとした。）
 - 1) 年間ページ数を増やす。
 - 2) ページチャージ徴収しない論文あたりの最大ページ数を減らして、掲載論文を増やす。
- Island arc連絡調整委員会（委員長-会田、担当理事-Wallis）
- ・BP社の新旧担当者のあいさつ回りがあり、会田、橋辺が懇談した。
 - 新担当者：館野氏、旧担当者ジュリアン氏は6月末で退職とのこと。
- 企画出版委員会（担当理事-藤本）
- ・箱根リーフレット、神奈川県博に販売委託をすることについて
子ども版「はこね火山たんけんマップ」5月23日出来上がり、大人版「箱根火山」は遅れているが、国土地理院から図の承認が取れ次第印刷する予定。
 - ・地学読本刊行小委員会報告（原田憲一委員長）
進捗状況：現在のところ2ヶ月遅れ、1章～4章、査読（表記の統一、内容添削）終了、著者修正中。5章～7章については7月中に査読終了予定。
刊行予定：11月、タイトル「新しい地学のおすすめ」
ある程度、原稿ができた時点で、企画出版委員会に提示し、意見を聞く。
4. 普及教育事業部会（部会長-矢島、藤本）
地学教育委員会（委員長-阿部国広）
 - ・地球惑星科学連合「教育問題検討委員会」
地層名委員会（委員長-天野）
第四紀問題について、ICSでの投票が行われ、Quaternaryを「紀、系」として扱うという意見に賛成を投じた。その後この投票には第三紀の削除（Neogeneと

Paleogeneに分割）も含まれていたことが判り、先の賛成票はこれについての同意も承知したものではないとの問題が起こっている。松本氏としては、第三紀については別途投票すべきであるとの回答する。（IUGS評議員松本良氏からの報告）。

5. その他
支部長連絡会議（担当理事-伊藤）
 - ・6月23日（土）、支部長会議開催
審議内容
 - 1) IYPE（国際惑星地球年）およびGeo-Park推進、地質の日制定への取り組みと協力要請等について
 - 2) 今後の年会開催地支部ローテーションと他学会との合同開催等について
 - 3) 国立公園リーフレット作成等について支部の協力
 - 4) 会員拡大の方策について
 - 5) その他、意見交換など
 - ・東北支部は秋田大学から東北大学に移った。支部長：大槻憲四郎

JABEE委員会（委員長-天野）
本年度は天野が委員長となることとした。前年度委員の終了報告と新委員会の編成を次回評議員会に報告する。

【以下、評議員会の下の子委員会】
名誉会員推薦委員会（伊藤副会長）
・小西名誉会員から推薦文の軽微な修正要請があり了承した。

各賞選考委員会（委員長-安藤寿男）
前委員長の酒井治孝委員より、各賞選考委員会では、現行の各賞選考方法に関する諸問題について、昨年度の各賞検討委員会委員長および各賞選考委員長からの提言を踏まえて検討を行っている。今回の評議員会の前までに、選考過程の見直し案を提出する予定である。これに基づいた選考過程やスケジュールの変更は9月以降早急行う必要があるため、9月の評議員会での了承が不可欠である。

法務委員会（担当理事：委員長-上砂）
・学会の新HP・会員管理のシステム作成業者（ST-LIVENETの中西氏）との契約にあたり、「事業参加を推進するための秘密保持契約書」の文面案を5月24日に受け取り、メールを通じて検討。

- 審議事項
1. 札幌大会全般について
全体状況を概観してどこに問題点があるか、どこへのテコ入れが必要かなど
 - 1) 申し込み関係は順調に進んでいる。
 - 2) セッションのコンビナーから、単独で後援企業の募集（広報のための資金集め）について、可否の質問があっ

た：現状で学会が寄付を受け入れる場合のルールや広報活動の実態を説明し、今回はこの申し出を受け入れないこととした。

3) 学会賞及び国際賞等の記念講演について

国際賞受賞者2名の来日講演が行われる場合には9日、10日午前の2日間に分けて行う。

4) 札幌駅西口コンコースでの展示について(向山理事世話)

会場費(約23万円)は地質学会が負担、会場の設営および撤去等にかかる費用(約34万円)については、全地連と産総研とに負担していただけるか検討中、その他展示パネルの作成については産総研にお願いする。展示物としては地質百選関係、北中康文氏の滝の写真などを予定。

5) その他の札幌大会対策

- ・就職支援プログラム(向山)
- ・学校教育関連(矢島、藤本):教員向けの巡検の実施(9月8日)、小さなアースサイエンティスト(9月9日)の実施
- ・地質情報展(斎藤):
- ・Geo-week(佃):実施について準備中
- ・広報関係(倉本):
- ・同窓会(伊藤):ニュース誌だけの情報では新しいことはなかなか進まないの、まずは伊藤が個人ルートでお願いの活動を進めている。現段階では、新潟大、茨城大、千葉大、東海大、東大などが開催の意向。
- ・一般市民向け普及シンポジウムの実施

2. 遅れているメルマガ出発、Webサイト確立のための最終体制(広報委員会体制の改革)

倉本理事が情報収集システムのたたき台を作成し、理事会としてメールで検討する。

7月3日までに決定する。メルマガの発行は毎月2回、第2週、第4週に発行することとした。早急にメルマガ記事の応募先の明示を行う。

3. 各賞選考過程の見直し(評議員会事項ではあるが、実際に始まる9月までに確定する必あり)

酒井各賞選考委員長が問題点を整理している最中。7月の理事会で検討し、9月評議員会に提案の予定。

4. 秋田大会をめぐる問題

岩鉱学会からの意向が伝えられた。合同での実施は可能。ただし、建物、受付は別。相

手側の方針が固まるのを静観することとした。

5. 会員増のための a. 若者対策, b. 団体対策

札幌大会までに、目に見える算段をする必要あり。スポットを当てて、検討をする。

6. 地質学雑誌問題

- 1) 地質学雑誌特集号についても、電子投稿可能なように変更した。
- 2) 現在の投稿規定のケアレスミスを修正することとした。
- 3) 地質学雑誌への新しいカテゴリーの追加について
・意義のあるデータの公表を目的として、修士論文等を地質学会が一定の品質保証を行う形で地質学雑誌に掲載する「報告(Report):最大6p.」を導入することとした。これに係る必要となる諸規定・規約等の変更を承認した。

7. 総会議事録を確認し了承した。

2007年度 第1回 定例評議員会議事録

2007年5月21日

日本地質学会

評議員会議長 新井田清信

副議長 保柳 康一

日 時:2007年5月20日(日)

19:15-20:00(総会終了直後)

会 場:幕張メッセ 国際会議場 302会議室(千葉市美浜区中瀬2-1)

出席者:(評議員25名) <留任> 会田信行、浅野俊雄、足立勝治、安藤寿男、石垣 忍、石渡 明、井龍康文、小山内康人、加藤進、酒井治孝、新井田清信、針金由美子、松岡 篤、

<新任> 阿部国広(途中退出) 磯崎行雄 永広昌之 大友幸子 川端清司 柴正博、高木秀雄、新妻信明、保柳康一、堀利栄、三宅康幸(途中退出)、山路 敦

(理事16名) 木村 学会長、伊藤谷生副会長、佃 栄吉副会長、渡部芳夫、天野一男、上砂正一、狩野謙一、公文富士夫(途中退出)、斎藤 眞、Simon Wallis、中山俊雄、久田健一郎、藤本光一郎、宮下純夫、向山 栄、矢島道子、(事務局) 橋辺菊恵

欠席者 評議員(委任状7名): 荒戸裕之、卜部厚志、北里 洋、中川光弘、松本俊幸、

山根 誠、脇田浩二

欠席者 評議員(委任状なし8名): 岡 孝雄、紺谷吉弘、徐 垣、松田博貴、丸山茂徳、渡辺真人、井内美郎、沢田順弘
理事欠席(1名): 倉本真一

・前年度評議員会、三宅議長の司会で開会した。

・成立員数(21/40)に対し、出席25名、委任状7名で合計32名、評議員会は成立。

議 題

1. 2007年度評議員会議長及び副議長の選出、任期1年。

議長:新井田清信・副議長:保柳康一両氏を選出した。

2. 各賞選考委員会委員の選出(半数改選)、任期2年(2007年度~2008年度)

・分野(層位、構造・テクトニクス、岩石、環境、分野指定なし)を考慮して、評議員の互選により、新選出の評議員の中から5名を選出した。

層位:堀 利栄

構造・テクトニクス:高木秀雄

岩石:中川光弘

環境:卜部厚志

分野指定なし:北里 洋(層位)

・留任委員2007年度まで:酒井治孝、井内美郎、安藤寿男、足立勝治、井龍康文

・現、前、正副編集委員長:狩野謙一・宮下純夫・久田健一郎・石渡 明・Simon WALLIS

・評議員会終了直後に選考委員の互選により、委員長に安藤寿男氏を選出。

2. その他

1) 矢島理事の提案により、地学教育委員会の活動内容を知っていただき、多くの会員にご協力いただくために、委員会のMLへの登録希望者が募られ、希望する場合は事務局に連絡することとなった。

2) 前回評議員会の審議事項でNews誌等でも厳しい現状が報告されている、地質学雑誌の発行について、新井田議長から次回評議員会には議題にぜひあげたいとの提案があり、それに関連して宮下企画部会長より現状について説明があった。続いて木村会長、天野・Wallis理事、新妻・山路評議員などから意見が述べられた。

3) 最後に、出席者全員の自己紹介をして終了した。